

Advance

#未来は、いま動き出す ～進路の第一歩として～

SOLAN後期課程7年生、いわゆる中学生としての生活が始まってから、半年が経ちました。新しい校舎や中等部のカリキュラムといった環境の変化にも少しずつ慣れ、日々の学びや行事の中で、それぞれが自分の「得意」や「好きなこと」を見つけ始めているように感じます。7年生の今は、まさに「自分の未来をつくるための種まき」の時期です。

中学生の進路指導というと、「高校受験の準備」という印象をお持ちの方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、SOLANでは高校受験の準備だけでなく、「自分の生き方を考える時間」として大切にしています。どんな学びに心が動くのか、どんな大人になりたいのか、そんな問いを少しずつ育てていくことが、未来の選択につながっていきます。

先日、三宅先生と横尾先生が、石川県にある国際高等専門学校（国際高専）を訪問しました。授業の多くは英語で行われ、学生たちは自ら課題を見つけ、チームで解決策を考えるというスタイル。校舎には最新の実験設備が並び、まるで大学や企業の研究室のような雰囲気だったそうです。

横尾先生は「知識を詰め込むよりも、自分で問いを立て、世界とつながる力を育てたい」という現地の教員の言葉に強く共感していました。三宅先生は、SOLANの子どもたちが日々取り組んでいる探究的な学びが、進路選択に確実につながっていることを実感できたとのことです。

これまでも紹介してきた国際高専、神山まるごと高専、ドルトン東京学園など、全国には子どもたちが「こんな学び方を続けたい」と感じられる学校が増えています。学び方も進路の形も、どんどん多様になっています。子どもたち一人ひとりの未来には、無限の可能性が広がっています！

その中で特に、私たちSOLANスタッフが最も大切にしているのは、子どもたち一人ひとりが

「自分の未来を自分の言葉で語れるようになること」です。

【試験運用】聴くClassNewsletterはこちら🔊

どの進路を選ぶにしても、その根底には「自分はこう生きたい」という想いがあります。

その想いを一緒に見つけ、形にしていくこと。

それが私たちの進路指導です。

進路という言葉には「道を進む」という意味がありますが、子どもたちにとってはまだ、その「道」の形が見えないことも多いでしょう。だからこそ、見学や体験、面談などを通して、自分の興味や憧れを言葉にし、少しずつ輪郭を描いていく時間を大切にしています。

私たちは、子どもたちが安心して立ち止まり、迷いながらも前へ進めるよう、チームで丁寧に伴走しています。また、保護者の皆さまとの対話も大きな力になっています。おうちでの何気ない会話や日常の気づきが、子どもたちの「これが好き」「こうなりたい」という芽を育てるきっかけになります。進路を考えることは、家族みんなで未来を見つめ直す時間でもあります。

11月4日（火）には、5・6・7年生を対象に理事長による進路講話を予定しています。また、保護者の皆さまに向けては、11月12日（水）18時から「SOLANのミライ」オンライン説明会を開催します。メールでもご案内していますので、ぜひご参加ください。

この機会が、子どもたちにとっても、そして保護者の皆さまにとっても、「未来を語り合う時間」となることを願っています。

進路は、ある日突然決まるものではなく、日々の学びと経験の積み重ねの先にあります。友だちと意見を交わしたり、実験で失敗したり、誰かの言葉に励まされたり、そんな一つひとつが、未来への道しるべになります。感受性豊かで、たくさんの人との関わりの中で成長している7年生の今こそ、自分を知り、世界を広げる大チャンスです。

私たちSOLANスタッフ一同、これからも子どもたちの夢と挑戦を心から信じ、全力で応援していきます。

【動画】スポフェスダンス🎵

【動画】音楽：合奏🎵

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Grade7

October 24, 2025

Advance

Sports Festival



We will value "Purpose" and "Ownership" for you